

公開講座「総合2018」

＜漕ぎ出せ未来へーフレキシブルな心のコンパスを携えてー＞

第7回 5月31日木曜日 13:00～14:30 津田塾大学特別教室

「関節、バナナ、滑りの科学」

"Joint, banana and the tribology"

北里大学 名誉教授

馬淵清資先生



◇略歴

- 1973 東京工業大学工学部卒業
- 1978 東京工業大学大学院博士課程修了
(工学博士号取得) 北里大学医学部助手
- 1991 北里大学医学部准教授
- 1994 北里大学医療衛生学部教授
- 1998 北里大学大学院医療研究科教授
(医療工学群)
- 2016 北里大学名誉教授 (北里大学、
首都大学東京、各非常勤講師)

◇受賞歴

IG Nobel Prize 2014, Physics Prize

◇学会活動

バイオトライボロジー研究会会長、
日本臨床バイオメカニクス学会評議員、
日本人工関節学会功労会員、
“Clinical Biomechanics” Editorial Board Member

◇著書

『バイオトライボロジー』産業図書、1988
『医用機械工学』コロナ社、2007
『臨床工学講座医用機械工学』
医歯薬出版、2011

学生スタッフより

みなさんすっかりおなじみの、「イグ・ノーベル賞」。今回の講演では、バナナの皮がなぜ滑りやすいのかを研究し、この賞をとった馬淵先生に来ていただきます。もともと人工関節を研究の対象としている方なので、多くの人は、どうしてバナナなの！？と思うのではないのでしょうか。講演を聴けば、こんな発想をする柔軟な思考を得るヒントが見つかるかもしれません。